

# 生保基準見直しに 対する見解は

貝田 義博 議員

**答** 必要な人が利用しにくくなるのは避けなければ



生活保護に関する新聞記事

**問** 生活保護受給者は全国で212万人と過去最高。背景には高齢者や解雇による失業者の増加などがある。

政府は今、受給世帯の急増などを口実に保護基準の見直しを検討しているが、市の現状と見解は。

**福祉事務所長** 受給者は、5年間で188人から284人と増加。相談件数も218件から308件とかなり増加している。  
**市長** 国で保護の適正化

が検討されていると聞くが、正式な通知はない。支援の必要な人までが利用しにくくなることは避けなければならない。

## 就学援助制度の拡充は

**問** 一昨年から生徒会やPTA、クラブ活動費が就学援助制度の対象となったが援助世帯の現状と市の対応は。

**市長** 景気低迷で援助を受ける児童・生徒は増え続け全体の12%余、支給額も増加している。追加支給には新たな財源も必要であるため、現行制度の維持を優先したい。  
**学校教育課長** 追加支給するには約400万円が必要。  
八女市、広川町とも一緒に協議しているが、財政事情などもあり、引き続き様子を見ることになっている。

# 議会の豆知識

◆「債務負担行為」とは

債務負担行為とは、一般家庭に例えると「ローン」にあたります。また、債務負担行為として議決した案件については、別途に予算計上され、議決されます。

債務負担行為と歳出予算の違いは

- ①歳出予算はその年度限りのものですが、債務負担行為は、後年度においても支出が予定されています。
- ②歳出予算は、予算とその支払いの双方を認めるのに対し、債務負担行為は、ローンを組むことを認めるものです。債務負担行為として議決されたものは、あらかじめ、歳出予算に計上され、議決されます。

の2点です。12月議会で債務負担行為として議決される案件は「新年度開始前に業者選定等事務手続を必要とするもの」が議決の対象となります。

◆「一部事務組合」とは

一部事務組合とは、複数の市町村などが、行政サービスの一部を共同で行うことを目的として設置する組織のことを指します。組合自体が一つの地方公共団体とされ、組合には議会を置くこととされています。隣接する中・小規模な市町村が消防やごみ処理、火葬場等の運営を行うために設けることがほとんどです。今回、旧八女郡東部の追加加入が議決された「八女西部広域事務組合」は「可燃ごみ・不燃ごみ・火葬場」を6市町（事業ごとに構成団体は異なります）で共同処理する一部事務組合です。

しかし、昨年の地方自治法改正により、組合の議会を設置しなくてもよい「特例一部事務組合」の制度が創設されました。